

医療安全推進週間

2008年11月23日(日).....▶ 29日(土)

厚生労働省では11月25日を含む1週間を「医療安全推進週間」と定め「患者の安全を守るための医療関係者の共同行動」の推進を図っています。その一環として、国民の皆様幅広く医療安全に関する取り組みを紹介するために、どなたでも参加できる公開シンポジウム「患者・市民の医療参加とパートナーシップ」の開催を企画いたしました。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/>

※中央行事以外にも各地方厚生(支)局において医療安全ワークショップを開催し、医療現場における安全意識の向上に努めています。



11月24日

公開シンポジウム

「患者・市民の医療参加とパートナーシップ」

会場 東京ビッグサイト会議棟(東京都江東区)
参加費 無料(どなたでもご参加いただけます)
共催 厚生労働省、医療安全全国共同行動推進会議及び医療の質・安全学会第3回学術集会
お問合せ 厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 電話:03-5253-1111(内線2579)

プログラム

*14:30-17:10 医療安全推進週間公開シンポジウム

- ◆医療安全推進週間にあたって 厚生労働省 医療安全推進室
- ◆特別講演「医療者と患者市民の協働の可能性」 ノンフィクション作家 柳田邦男氏
- ◆活動発表「“新しい医療のかたち”をめざす患者・医療者・地域社会の取り組み」
NPO法人地域医療を育てる会/県立柏原病院の小児科を守る会/
医療情報の公開・開示を求める市民の会/緩和ケア支援センター“はるか”
- ◆パネル討議「“患者の医療参加”を考える」
関原健夫氏(日本対がん協会常務理事)、本田麻由美氏(読売新聞社記者)、鮎澤純子氏(九州大学)ほか

*8:30-15:00 併設展示:「私たちの活動」展 (患者・医療者・地域社会の取り組みの紹介)

主催 厚生労働省

後援団体 文部科学省、各都道府県、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人医薬品医療機器総合機構、社会福祉法人恩賜財団済生会、財団法人医療関連サービス振興会、健康保険組合連合会、財団法人厚生年金事業振興団、国家公務員共済組合連合会、財団法人船員保険会、全国国民健康保険診療施設協議会、全国厚生農業協同組合連合会、社団法人全国社会保険協会連合会、社団法人全国自治体病院協議会、社団法人全国ビルメンテナンス協会、社団法人全日本病院協会、社団法人地方公務員共済組合協議会、社団法人日本医師会、社団法人日本医療経営コンサルタント協会、日本医療機器産業連合会、財団法人日本医療機能評価機構、社団法人日本医療法人協会、社団法人日本衛生検査所協会、社団法人日本看護協会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本歯科衛生士会、社団法人日本歯科技工士会、社団法人日本私立医科大学協会、社団法人日本精神科病院協会、社団法人日本精神科看護技術協会、日本製薬団体連合会、日本赤十字社、社団法人日本病院会、社団法人日本病院寝具協会、社団法人日本病院薬剤師会、社団法人日本放射線技師会、社団法人日本薬剤師会、社団法人日本臨床衛生検査技師会、社団法人日本臨床工学技士会、社会福祉法人北海道社会事業協会

